

『えびすかき』 やって来た！

©有限会社ともも

西宮編

《祝いの芸だよ！ えびすかきと太神楽》

- ◆開催日：10月2日(土) 14時開演
- ◆場 所：西宮神社 六英堂(西宮市社家町1-17)

尼崎編

《尼崎城の姫がめでた えびすかきと二胡》

- ◆開催日：10月17日(日) 13時半開演
- ◆場 所：尼崎城1階 まちあるきゾーン(尼崎市北城内27)

芦屋編

《人形芝居の芸能を楽しむ えびすかきとパペット落語》

- ◆開催日：10月31日(日) 14時開演
- ◆場 所：芦屋神社 参集所(芦屋市東芦屋町20-3)

■主催：兵庫県阪神南県民センター ■共催：阪神南文化振興団体連絡協議会、尼崎市(尼崎編)

※本催しは、新型コロナウイルス等の感染防止に細心の注意を払って開催します。社会状況の変化等により変更・中止があれば、申込者にご連絡すると共に、県民センターホームページ等でもお知らせします。ご参加の方はマスクを着用し、手指消毒や入り口での検温等にご協力下さい。ご協力いただけない場合、参加をお断りすることがあります。

首に下げた箱からえびす人形を取り出して、
『めでたい、めでたい』と舞いながら福をまく…

えびす宮総本社・西宮神社周辺には、室町時代頃から人形芝居をしながら
全国を旅して“えびす信仰”を広めた人形操り師(えびすかき)が住んでいました。
彼らの芸が淡路や大阪へ渡り、やがて人形浄瑠璃や文楽へと発展していきます。

明治時代に途絶えた「えびすかき」の芸を復興させた
“現代のえびすかき”人形芝居えびす座が、福を携えてやって来ます。

©有限会社ともも



©有限会社ともも

<人形芝居えびす座>

《西宮編》

- ◆ 寿式三番叟、えびす舞、お話し／人形芝居えびす座
- ◆ 太神楽(傘まわし*や獅子舞など)／豊来家 玉之助
※広げた傘の上で毬などを回す曲芸

《尼崎編》

- ◆ 寿式三番叟、えびす舞、お話し／人形芝居えびす座
- ◆ 二胡(中国の伝統的弦楽器)の演奏／楠田 名保子

《芦屋編》

- ◆ 寿式三番叟、えびす舞、お話し／人形芝居えびす座
- ◆ パペット落語とお楽しみ落語／笑福亭 笑利



<豊来家 玉之助>



<楠田 名保子>



<笑福亭 笑利>

参加費 いずれも無料 **定員** いずれも40人(応募多数の場合は抽選)

申込み 下のQRコードから(開催会場ごとにお申込み下さい。複数会場の申込可)
または、開催地ごとの申し込み期限【必着】で、①氏名、②ふりがな、③住所、④電話番号
(あればファックス番号も)、⑤参加希望会場をご記入の上、郵送、ファックス又は電子メール
でお申し込み下さい。(ファックスの場合、必ずお電話で到達を確認して下さい。)



9月17日(金)
までに



10月1日(金)
までに



10月15日(金)
までに



申込み・お問合せ 兵庫県阪神南県民センター県民交流室県民・産業振興課

〒660-8588 尼崎市東難波町5丁目21番8号 ■ TEL:06-6481-4542 ■ FAX:06-6482-0579
■ E-mail:hanshinm_kem@pref.hyogo.lg.jp